

令和5年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)  
 事業内容報告書の概要

地方公共団体名【 長岡京市 】							
令和5年度に実施した取組の内容及び成果と課題							
<p>1. 事業の実施体制(運営協議会・連絡協議会の構成員等)                  本事業で対応見込みであった児童生徒については、ポケットーク等の活用により学習支援等を行うことができた。</p>							
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること</p> <p>(1)地域の外国人児童生徒等指導体制の推進に係る運営協議会・連絡協議会の設置・運営                  個別に対応を要する児童生徒が1人のみであり、ポケットーク等の活用により学習支援等を行うことができたため、運営協議会等の設置には至らなかった。</p> <p>(2)学校における指導体制の構築                  個別に対応を要する児童生徒が1人のみであり、ポケットーク等の活用により学習支援等を行うことができたため、指導体制の構築には至らなかった。</p> <p>(3)「特別の教育課程」による日本語指導の実施                  ポケットーク等の活用により個別の学習支援等を行うことができ、対象児童生徒の日本語力の向上及び学校生活の安定も見られたため、特別の教育課程は編成していない。</p> <p>(4)成果の普及                  対象児童生徒の状況について、職員会議等で共有を行った。</p>							
<p>3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること                  ポケットーク等を活用することで、学習支援や家庭との連絡を円滑に行うことができた。                  今後は、多言語に対応した高精度のAI翻訳機の配備が望まれるとともに、通信費等の経常経費の負担が課題である。</p>							
本事業で対応した幼児・児童生徒数	幼稚園等	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	( 人園)	( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)
うち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒数		( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)	( 人校)

#### 4. その他(今後の取組予定等)

日本語以外を母語とする児童生徒については、今後も増加が予想されることから、将来的には、市内小中学校において日本語指導の中核となる教員の配置を行い、対象となる児童生徒の進路を見据えた一貫した指導・支援体制を計画的に構築していく必要がある。まずは、現状の支援体制の充実を図り、日本語指導のできる人材の確保・育成、指導実績を着実に積み上げてゆきたい。

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。

※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き、様式9(添付1)の5. 成果イメージ資料のポンチ絵と併せて、文部科学省ホームページで公開する。